

広島市比治山での花見会を開催しました

日 時：令和6年3月29日（金）10：30～13：30

集合場所：広島駅北口

参加者：会員6名 一般1名



会員より紹介があり、広島市南区の比治山頂上の公園で花見会を開催しました。広島駅から比治山頂上の現代美術館前まではバスで途中平和公園経由して約1時間で着きました。バスの中は原爆ドームを訪れる外国人観光客と大きな荷物で一杯の状態です。圧倒される思いがしました。花見を企画した3月初めの温かさから、きっと桜は満開であろうとと思っていたのですが、その後の雨つづきのために当日は晴れたのですが桜はほぼつぼみばかりでした。皆で座れるベンチを探して横一列に座ってむすびのムサシの田舎むすび弁当を食べました。



話題で一番盛り上がったのはスマホで写真を撮ることで皆さんスマホは持ってられるが操作がわからない。撮った写真はどうやって見るのか、送るのはどうやるのかであり、笑いが絶えませんでした。教える方も自信が無いし、今度一緒に電器店へ行って聞こうとなりました。便利なもの、新しいものを学んで時代についていくために現在に生きる80代、70代シニアの悩みは多いことに気づかされました。



広島県支部総会・講演会を開催しました

令和6年5月26日に広島県支部の総会・講演会を広島市南区地域福祉センターにて開催しました。来賓として末田泰二郎先生（安芸市民病院）、三井法真先生（広島県立広島病院）、濱中喜晴先生（公立みつぎ総合病院）、木野山様（アボット社）、近藤様（ライフライン社）にご参加していただきました。



会員参加10名と一般参加9名があり総勢24名となりました。初めに会員からの近況返信を報告して、総会を始めました。令和5年度の活動報告と収支決算及び令和6年度の活動計画について審議を行い出席者により承認されました。

活動の内容についてLINEメンバーが現在6名になったことで行事連絡や意見交換が容易になったことを報告しました。今後更にメンバーを増やしていくことで活動を計画して行くつもりです。

第二部として末田先生より「リード線抜去の適応と手技 ～感染を中心に～」を演題としてご講演をして戴きました。座長は濱中先生にお願いして、講演の内容についての質疑応答、事前質問に対する回答を取りまとめて戴きました。

開催に当たって、一般からの参加を図るために中国新聞のけんこう掲示板へ投稿しました。

新聞記事がなぜかいつもの倍の大きさの活字で載せてくれたこと、掲載日が土曜日であったことのお蔭か反響が大きく、会員参加と同数の一般の方の参加がありました。

マスメディアの力は恐るべしと改めて教えられました。友の会へは入っていないが、ペースメーカーを植え込んで10年以上になり交換手術のことや、リード線のことを心配になり、講演を聞きたいとの連絡が多くありました。心臓病を患う同じ患者仲間としての繋がりが広がっていくように今後も話題を提供していきたいと思えます。

24.5.18中口 26日 友の会広島県支部が講演会

ペースメーカー 注意点や除去方法は

日本心臓ペースメーカー友の会広島県支部は26日午前10時半から、広島市の南区福祉センターで定期総会と講演会を開く。安芸市民病院（安芸区）の末田泰二郎院長が「リード線抜去の適応と手技」と題して講演する。一般参加の申し込みは21日まで。

午前11時からの講演会では、末田院長が脈拍を調節するペースメーカーの注意点や、心臓に刺激を伝えるリード線の除去方法などを解説。院長を含む3人の医師が参加者からの質問に答える。

21日まで質問も募っている。電話かメールで申し込む。倉本正治支部長 ☎090(1335)2430。メールmk977012@gmail.com